

新型コロナウイルス対策のヒント2

福祉施設及び団体は、高齢者・障がい者等支援が必要な人と支援者がともに、安全で安心して暮らせる環境を守る使命があります。今回の新型コロナウイルスの感染は、私たちの生命に関わることもあります。万全の感染防止に努めていただけるよう、業務等における注意点をまとめました。

身の回りの消毒をして感染を防ぎましょう

1. 食器洗いには、熱水（80℃）を利用

- 食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます（やけどに注意してください）

2. 手すり・ドアノブ等は次亜塩素酸ナトリウム希釈液を利用

- カウンターやドアノブ、スイッチなど不特定多数の人の触れる部分や床等の面積の広いところなどはハイター、ブリーチなど塩素系漂白剤を利用した次亜塩素酸ナトリウム希釈液で消毒できます
- ハイター、ブリーチなど塩素系漂白剤を濃度0.05%に薄めたうえで、ペーパータオル等で拭く（ペーパータオルは使い捨てる）
- ハイター、ブリーチなど商品によって濃度が違いますので、薄める際は、下記のサイトを参考にしてください
例：水1リットルに10ミリリットル（商品付属キャップ1/2杯）
経済産業省 https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/0327_poster.pdf
- 製品中の次亜塩素酸ナトリウムは、様々な条件で分解していることから、濃度を特定することができません。購入から3年以上経過した古い製品では、次亜塩素酸ナトリウムの濃度が著しく低下している場合がありますので、ご使用はおすすめできません
- 塩素系漂白剤の使用には注意が必要です。ご使用前には必ず、各製品に表示している内容をご確認ください
- 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウムを含む）は、非常にアルカリ性の高い製品で、薄めた液でも材質によっては変色や腐食を起こす場合がありますので、拭いた後は必ず清潔な布や紙を用いて、しっかりと水拭きしてください
- 塩素系漂白剤は、**人体の消毒には使えません**

3. 水拭きができないところにはアルコール消毒液を利用

- パソコン、キーボード、マウス、筆記具、電話機、キャビネットなど水拭きができないものは、アルコール消毒液を利用します
- アルコール消毒液は、基本的に2度拭きは必要ありません
- アルコール濃度は70%以上の物を使用します
- 拭き取りは、ペーパータオル等を使用して、使い捨ててください

4. 手指の消毒は手洗い又は手指消毒用アルコールを利用

- 手指の消毒にアルコール消毒液を使う場合は、手指消毒用のアルコール消毒液を利用してください
- アルコール消毒等は、1回の消毒に2ミリリットル以上手にとることが必要
- 手指用消毒用アルコールがない場合は、石けんやハンドソープで10秒もみ洗い後流水で15秒すすぐを2回繰り返します
- タオルは共有しないでください
- 最近はレバーに触れることなく自動で水が出てくるタイプの水道も多いのですが、手で操作が必要な水道の場合は、手洗い後、レバーなどに触れたら手が再び汚れてしまいますので、ペーパータオルなどを使って止めましょう

参考資料サイト

経済産業省 https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/0327_poster.pdf
国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/2019nCoV-01-200407.pdf>
うま市 <https://www.city.uruma.lg.jp/userfiles/U103/files/syoudoku0408.pdf>
一般社団法人日本環境感染学会
http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=328
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター <https://www.ncgg.go.jp/hospital/news/20200319.html>
花王 https://www.kao.com/jp/soudan/topics/topics_107.html